

そもそも、犬は自分の名前をどう理解しているのでしょうか。

犬の世界に、少なくとも音声で刺激するものとしての名前はないでしょう。犬同士が出会った時に必ずほえたり鳴いたりすることはなく、相手によって使い分ける発声もあります。犬は人の言語を理解できず、名前の意味もわかりません。

それでも、犬は名前を「これから自分に関係のある出来事が起こる合図」として理解します。これには「良いこと」「悪いこと」も含まれるので飼い主さんは「良いこと」として教えてあげましょう。

2 ■ 犬の名前を呼ぶ？  
犬の名前

## 「良いこと」の前に呼ぶ

う。そうすれば逃げたり、「何言ってるの？」と混乱したりすることはほとんどありません。

食事や散歩のときなど犬にとって「良いこと」が起こる前に、「ランちゃん、ご飯だよ」などと優しく名前を呼んでいれば、特別なトレーニングはなくても反応するようになります。

しかし、「ラン！ ダメでしょ！ や、「ランちゃん、歯磨きするよ」など、叱るときや嫌がることをするときばかり名前を呼ぶのは厳禁です。名前を呼ぶとおびえたり、逃げたりします。

上手に教えれば、犬は名前を呼ぶと飼い主に注意を向けるようになります。円滑な「ミニユニケーション」の合図として活用しましょう。

（ヤマザキ動物看護大講師 堀井隆行）

教えて！